

## 学習指導案(教科:英語科)

### 1 授業内容

科目:英語表現 I

単元:Lesson● 不定詞

### 2 本時の指導計画と評価方法

#### (1) 単元の目標

不定詞の文中におけるはたらきを、3用法に即して理解し、実際に表現の過程で使用できる。

#### (2) 本時の目標

文構造に基づき不定詞の「3用法」のはたらきを分析し理解できる。

また、(アウトプット)の前段階として、「副詞用法」を中心に不定詞のもつ複数の意味を習得し、与えられた文について、意味するところを区別できる。

#### (3) 本時の評価規準

(関心・意欲・態度)自分の意見を英語でまとめ、新たに習得した知識を積極的に使い、表現しようとする。

(思考・判断・表現)文構造や修飾関係、文意の分析に基づいて、「名詞用法」「形容詞用法」との違いを区別できる。

(知識・理解)不定詞の「副詞用法」の文中におけるはたらきを理解できる。

#### (4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	<p><b>Review</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストの実施 →既習事項の理解度を 確認する。</li> <li>・解答の確認と補足説明 →前時の文法である不 定詞の「3用法」のはたら きを明確にする。</li> </ul> <p><b>Introduction</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例文の提示 →「目的」以外の副詞用 法が存在することを示唆 することで、関心を引く。</li> <li>・本時の目標の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の既習事項「不定詞の3用法」の復習 として小テストに取り組む。 →ClassPad.netからURLを送信。google formで小テストを実施。 →各問の正答率をformで即座に確認し、正 答率の低い問を解説する。</li> <li>・スライドを用いた教員の解説を聞く。</li> <li>・各自、自身のテスト結果を確認し、誤答や 疑問点があればノートや資料を見直す。</li> <li>・ClassPad.netのテキストを用い、関係副詞 を用いた例文を提示する。 【例文】 Nice to meet you. Glad to see you.</li> <li>・本時の目標を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の理解度を確認する。</li> <li>・小テスト後半は本時「副詞用法」「目的 を表す表現」に関連するので、重点的に 解説する。 評価【知識・理解】 不定詞について、既習事項である「3用 法」のはたらきを理解している。</li> <li>・馴染みのあるフレーズが、基本の用法 で扱った「副詞用法」と同様のものである ことを意識させる。</li> </ul> <p>本時の目標:「副詞用法」を中心に不定 詞のもつ複数の意味を習得し、与えられ た文について、意味するところを区別で きる。</p>
展開 (35分)	<p><b>Exercise</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアワーク (例文を出し合う) →既習の意味とは異な る不定詞の用法が存在 することに気づく。</li> </ul> <p>文法説明 →文構造から3用法を区 別すること、「副詞用法」 の持つ意味を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EX-wordを用いて、不定詞を用いた例文を 参照する。例文は、ふせん機能で提出する。</li> <li>・ペアを組み、生徒間で例文を共有する。</li> <li>・スライドで教員が共有した例文と、その文 法的な解釈を確認する。 【例文】 「副詞用法」目的・結果・判断の根拠・感情の 原因・仮定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が見つけ出した例文の中から、副 詞用法を中心に抽出し、スライドを用い て解説する。</li> <li>・重要項目を押さえるため、予め例文を 用意しておくが、生徒が提出したもので 代替できれば、優先的に使用する。 評価【関心・意欲・態度】 積極的に活動に参加している。</li> <li>評価【知識・理解】 不定詞の「副詞用法」の文中におけるは たらきを理解できる。</li> <li>評価【思考・判断・表現】 文構造や修飾関係、文意の分析に基づ いて、「名詞用法」「形容詞用法」との違い を区別できる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<p><b>Closing greetings</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提示</li> <li>・まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員によって伝達された課題の内容を確認 する。 【課題】 ・テキストの「不定詞の基本用法」問題演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を伝達する。</li> </ul>

#### (5) ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、導入と展開の部分である。展開では、生徒自身が見つけ出した例文を用い、文法解説を行うことが

できる。

(手順)

- 1 不定詞を用いた例文を、辞書を用いて参照させる。  
ClassPad.netのEX-wordを用いて、例文を生徒たちに見つけさせる。
- ② 例文を提出させる。また、ペアを組み、生徒間で例文を共有する。  
ClassPad.netのふせんを用いて、それらを生徒たちから回収する。
- ③ 生徒が見つけた例文あるいは用意しておいた例文を、スライドを用いて提示し解説する。  
ClassPad.netのテキストふせんを用いて問題を提示し、タブレットで書き込みながら解説する。  
スライドをホワイトボードに移し、生徒に共有する。

(ClassPad.netを活用する効果性について)

- 1 EX-wordを活用し、生徒に例文を検索、選ばせることで積極的に授業へ参加させることができる。
- 2 提出された生徒の解答を添削することで教科書以外の学習活動を行うことができる。
- 3 課題の設定、提出から回答までノートブック上で授業を完結することができる。